

Sunhayato

地球温暖化係数の小さい難燃性ブロー

ZEブロー (JBE-S300)

技術資料

2018年12月25日発行

REV.1.00

SG18004



サンハヤト株式会社

本社 〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-40-1
☎ 03-3984-7791 FAX. 03-3971-0535
<http://www.sunhayato.co.jp>

お願いとご注意

- ・ 本資料は、電子工作や電子回路、化学分野について一般的な知識をお持ちの方を対象にしています。
- ・ 本資料に掲載している内容は、お客様が用途に応じた適切な製品をご購入、ご使用していただくことを目的としています。その使用により当社及び第三者の知的財産権その他の権利に対する保証、または実施権の許諾を意味するものではありません。また、権利の侵害に関して当社は責任を負いません。
- ・ 記載されているデータは規格値ではありません。
- ・ 本品は、一般工業用途向けに開発されたものですので、医療用途・食品・化粧品など、安全面での配慮を必要とする用途へのご使用に際しては、貴社にて事前に当該用途での安全性をご試験、ご確認の上ご使用の可否をご判断ください。
- ・ 体内に埋植、注入する用途、または体内に一部が残留する恐れがある用途には、絶対に使用しないでください。
- ・ 本資料の一部、又は全部を当社の承諾なしで、いかなる形でも転載または複製されることは堅くお断りします。
- ・ 全ての情報は本資料発行時点のものであり、当社は予告なしに本資料に記載した内容を変更することがあります。
- ・ 本資料の内容は慎重に制作しておりますが、万一記述誤りによってお客様に損害が生じても当社はその責任を負いません。
- ・ 本資料に関してのお問い合わせ、その他お気付きの点がございましたら、当社までお問い合わせください。
- ・ 本資料に関する最新情報はサンハヤト株式会社ホームページ
(<http://www.sunhayato.co.jp/>) に掲載しております。

目次

1	はじめに	3
1.1	概要	3
1.2	特長	3
2	特性データ	4
2.1	性状	4
2.2	物理的特性	4
2.3	電気的特性	4
2.4	樹脂影響性	5
3	使用方法	5
4	取扱い及び保管方法の注意	6
4.1	取扱い上の注意	6
4.2	保管方法の注意	6

1 はじめに

1.1 概要

- ◆本製品は、環境配慮と安全性を両立させた HFO-1234ze を使用したダストブロー器です。
- ◆OA 機器や AV 機器、その他の電子機器などに付着したホコリなどを強力で吹き飛ばし除去できます。
- ◆地球温暖化係数が 1 未満で HFC-134a より 99.9%削減でき、地球温暖化対策を図れます。
- ◆欧米では不燃性扱いとなっており、多くの使用場面で引火の心配が無く安全に使用することができます。
- ◆グリーン購入法適合商品です。(ノンフロンに該当)
- ◆弊社イオナイザーブローガン BG-221R に使用できます。

1.2 特長

- ◆環境に優しい
オゾン層破壊係数は実質的にゼロでありオゾン層を破壊せず、地球温暖化係数も CO₂より低く、地球温暖化への影響も極めて少ない製品です。
- ◆難燃性
GHS分類において不燃性ガスであり、また国連分類においても非引火性ガスに分類されます。
28℃以下では不燃性を有し、30℃以上でも裸火や大きな着火エネルギーの着火源でないと可燃性を示しません。
よって、通常想定される使用環境において火災の危険性は極めて低い製品になります。
- ◆トリガータイプ
トリガータイプ、片手で持ちやすいスリム缶を採用しており、作業性に優れています。

2 特性データ

2.1 性状

項目	性能
成分	HFO-1234ze
内容量	358g (300ml)
オゾン層破壊係数	≒0
地球温暖化係数	<1

2.2 燃焼性の評価試験

2.2.1 火炎長試験 (ASTM D 3065-01)

方法： ろうそくの炎に対し15cmの位置からエアゾールで噴射し、燃焼性を確認する。

結果： 火炎の伸長は認められず、不燃性であった。(消火に至る。)

2.2.2 密閉空間着火試験 (ASTM D 3065-01)

方法： ドラム缶内に長手方向距離の1/2地点に点火したろうそくを設置し、エアゾールの全量を噴射し、燃焼性を確認する。

結果： 着火は認められず、不燃性であった。

2.2.3 高温板への着火試験

方法： 表面温度200°Cの高温板にエアゾールを噴射し、燃焼性を確認する。

結果： 着火、引火は認められず、不燃性であった。

2.2.4 最小着火エネルギー試験

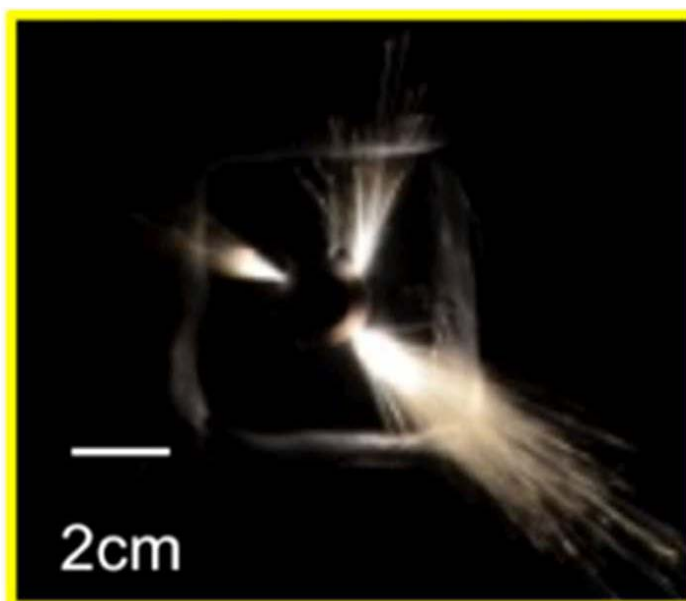
方法： ガラスフラスコに静電気の生成が可能な電極を設置し測定した。

結果： 54℃において、61,000～64,000mJであった。よって、通常想定される着火源に対しても引火の危険性は極めて低いものでした。

※参考データ

DMEの最小着火エネルギー：0.29mJ（20℃）

図1. 428mJのスパークエネルギー



3 使用方法

- ①付属のパイプを噴射口にしっかり差し込んで下さい。
- ②一度空吹きをした後、噴射方向を確認してトリガーを引いて下さい。
- ③噴射の時間は2～3秒くらいに区切ってご使用下さい。
- ④液化ガスが噴射し、凍傷の恐れがありますので、横や逆さにして噴射しないで下さい。

4 取扱い及び保管方法の注意

4.1 取扱い上の注意

- ①裸火や赤熱部分に直接吹きかけないで下さい。
- ②噴射したガスは空気よりも重く、下に滞留しますので使用時は充分換気して下さい。
- ③30℃以上では裸火や大きな着火エネルギーで引火する恐れがありますので、気密性の高い機器内部や高温になる部分へは使用しないで下さい。
- ④長時間継続してガスを吸い込まないで下さい。
- ⑤用途以外に使用しないで下さい。
- ⑥ご使用に際しては、技術資料、安全データシート（SDS）を熟読の上、お取り扱いくださるようお願いいたします。SDSはサンハヤト株式会社ホームページ（<http://www.sunhayato.co.jp/>）からダウンロードできます。

4.2 保管方法の注意

- ①ご使用後は換気の良い冷暗所に保管して下さい。
- ②ご使用後は火気のない戸外で噴射音が消えるまでトリガーを引いてガスを完全に抜いてから、自治体のルールに従って廃棄して下さい。

ZE ブロー JBE-S300
技術資料

発行日 2018 年 12 月 25 日 Rev1.00

発 行 サンハヤト株式会社

住 所 〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3 丁目 40 番 1 号

©2018 Sunhayato Corp. All rights reserved. Printed in Japan.

SG18004
